

～下記の研究を行います～

『 当病院の転倒転落におけるリスク因子についての 実態調査』

【研究責任者】 福田 愛香

【研究の目的】

当院で転倒・転落された患者さんの平均年齢は 74.9 歳と高齢者が多く、転倒・転落により、骨折や ADL の低下、治療の延期などの影響がある。転倒・転落のリスク因子として薬剤の影響や身体抑制が適切でない可能性が考えられた。そのため、転倒・転落のリスク因子について、明らかにすることで、適切な睡眠鎮静剤の使用や身体抑制の適切な使用について検討する。

【研究の期間】 研究許可日～2021 年 3 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2019 年 4 月～2020 年 3 月、当院に入院し転倒・転落された患者さん

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：①患者基本情報：年齢・性別・発生日時・曜日・睡眠鎮静剤の薬の内容・転倒発生場所・入院何日目・術後何日目等

②疾患情報：認知症の有無・血液データ（AST/ALT/CRE）等

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 看護部 副看護師長 福田愛香